

令和4年度 みどり第4・5・6学年 学級経営案

| 学校教育目標 | | | |
|--|---|---|-----|
| ふるさとを愛し、一人一人が輝く徳・知・体の調和のとれた児童の育成 【かしこく】進んで学び、よく考える児童 【なかよく】思いやりをもち、助け合う児童 【元気よく】礼儀正しく、ねばり強い児童 | | | |
| 学級目標 | | | 評価 |
| かしこく | Change 新しい一歩 ~自分のために みんなのために がんばるクラス~ ○自分の思いや考えを伝えることができる子ども ○友達や周りの人のために進んで動くことができる子ども ○自分の成長を実感することができる子ども | I | II |
| | 1 毎時の学習の流れをパターン化することで、見通しをもって取り組むことができるようとする。 | | III |
| | 2 ICT を活用して、漢字の読み書きの定着を図る。 | | |
| | 3 基礎基本問題を中心として学習を進め、繰り返し学習をすることで基礎学力の定着を図る。 | | |
| | 4 教室に10冊本を置き、1週間ごとに図書の入れ替えを行うことで、読書に親しむができるようとする。 | | |
| | 5 国語（プリントまたはスキル）・算数（プリントまたはスキル）・音読・日記を毎日の家庭学習とし、習慣化を図る。 | | |
| なかよく | 6 ノート等に記述した考えに丸を付けることで、自信をもって発表することができるようとする。 | | |
| | 1 自立活動の時間に「人間関係の形成」「コミュニケーション」の項目の題材を取り入れ、他者とのかかわり方を学習する機会を設ける。 | | |
| | 2 毎日一人一役の係活動を設定することで、協力して学級をつくりあげができるようとする。 | | |
| | 3 交流学級での学習を計画的に実施し、いろいろな友達と一緒に学習する機会を設ける。 | | |
| 元気よく | 4 帰りの会で、自分のめあてを振り返り、発表する場を設けることで、自他の成長や頑張りを認め合うができるようとする。 | | |
| | 1 連絡帳に、検温や就寝・起床時刻、朝食摂取の有無の欄を設け、確認を行うことで、健康状態を把握することができるようとする。 | | |
| | 2 昼休みに、運動場や体育館での全員遊びへの参加を促す。 | | |
| 郷土愛 | 3 安全に過ごすことができるよう、学校生活のきまりやルールを徹底する。 | | |
| | 1 自分が住む郷土のよさを実際に体感することができるよう、現地見学や体験学習を実施する。 | | |
| | 2 家庭科や総合的な学習の時間で、地域の方と交流できるよう、地域学校協同活動を活用する。 | | |
| | 3 社会科等の教科において、湯前町の特色や自治、歴史に関する事項を取り入れながら学習を進める。 | | |
| | 学期評価（達成状況 達成← 4、3、2、1 →未達成） | | |

